

日本労働年鑑 1951年版(第23集)

The Labour Year Book of Japan 1951

第二部 労働運動

第二編 労働組合運動

第七章 主要な労働組合の現状

全日本海員組合

全日本海員組合(海員)

(All-Japan Seamens' Unions)

- ◇結成 一九四五年一〇月五日
- ◇所在地 神戸市生田区海岸通三ノ二六
- ◇加盟機関
- ◇組織

〔支部〕

- 東京都港区芝海岸通三
- 函館市末広町一八
- 小樽市稲穂町東五ノ三
- 室蘭市海岸町二九
- 八戸市青森県八戸市鮫町六五
- 塩釜市塩釜駅前
- 新潟市沼垂芳原町
- 富山県高岡市伏木湊町
- 横浜市南区中島町三五六
- 名古屋市港区浜町五ノ一
- 舞鶴市寺内小字寺門町
- 鳥取県西伯郡境町栄町
- 大阪市港区桂町一ノ一
- 尾道市久保町五八四ノ三
- 広島県御調郡土生町長崎
- 広島市宇品町三二八
- 高松市北浜町六九
- 高知市棧橋通六ノ四八
- 松山市三津浜町須先町
- 九州若松市浜二番町三丁目
- 下関市大和町六水産会館
- 門司市西海岸通税関前
- 大牟田市三川町三ノ二九
- 長崎市樺島町四一ノ一
- 佐世保市平瀬町
- 鹿児島市生産町二五
- 清水市湊町三ノ八二

〔出張所〕

- 淡路洲本市船場町甲三〇三
- 和歌山和歌山市湊大和町
- 船川秋田県南秋田郡船川港町
- 酒田山形県酒田市下台町
- 青森市青森市新浜町三一
- 玉野岡山県玉野市海運局内
- 八幡市八幡市枝光鉄構内
- 徳島市中州町二丁目
- 博多福岡市北浜町三ノ二五
- 大分市大分市西大分金谷橋
- 呼子佐賀県東松浦郡呼子町

川田 福岡県京都郡川田町
唐津 唐津市西唐津第一海岸通
湊町 東京都中央区湊町三丁目
敦賀 敦賀市橘町二八
呉 呉市海岸通四ノ五五
熊本 熊本県宇土郡三角町東港
三重 四日市市末広町九
琵琶湖 大津市御蔵町一五
兵庫分室 神戸市兵庫区島上町
木更津 千葉県木更津市木更津一二七〇
釧路駐在所 釧路市錦町四ノ三
組合員数総計 一六〇、五八九名

◇役員

組合長 陰山 壽
副組合長 中地熊造
同 有井 澄

◇機関紙 「船員しんぶん」タブロイド版四ページ

◇運動方針(第八回定期大会一四九、一〇、二七)

第一、基本的な態度

一、(組織の原則)海上労働者の産業別単一組織を堅持し、どの様な組合分裂乃至は組織分化の態度にも反対する。

二、(組合の立場)自由にして民主的な労働組合主義に立ち、政党、政府、使用者など如何なるものの組合に対する支配干渉をも排する。

三、(革命の方向)民主的方法による社会主義の実現を求め強力にして行動的な社会民主主義政党の発達を促進する。

四、(国際平和の追求)速かなる日本の独立達成を期するとともに、戦争に反対し、自由と平等の原則にたつ平和的人類社会の実現を希求する。

第二、当面の方針

一、組織拡充と闘争力強化のため、組織運営上の反省、組合デモクラシーの確立、情勢調査活動の強化、教育文化活動の充実、組合財政の確立、争議金庫の設立に重点的に努力を払う。

二、自由世界労連を支持し、加盟の速かな実現を期する、また自由世界労連加盟促進の活動を通じて、積極的に国内における民主的労働戦線の統一を図る。

三、海運労働戦線の統一について、国際的には国際運輸労連への加盟を通じ国内的には海運防衛中央会議の強化と組織の発展を通じて闘う。

四、吉田反動内閣の打倒に向って勤労階級の力を結集し、その実現と民主主義革命の推進のため闘う、

五、財政的理由のみを先行させて海運産業の主体条件を無視した運営会補助金打切りの政府措置に反対する、この問題を通じて海運政策の確立と来年度国家予算案の修正を闘いとる。

六、当面する闘争の眼目は、漁業をも含めて、海運産業の防衛と海上労働者の基本的人権の確立にある。

日本労働年鑑 第23集／1951年版

発行 1951年1月1日

編著 法政大学大原社会問題研究所

発行所 時事通信社

■ ←前のページ 日本労働年鑑 1951年版(第23集)【目次】 次のページ→ ■
日本労働年鑑【総合案内】

法政大学大原社会問題研究所(<http://oisr.org>)
